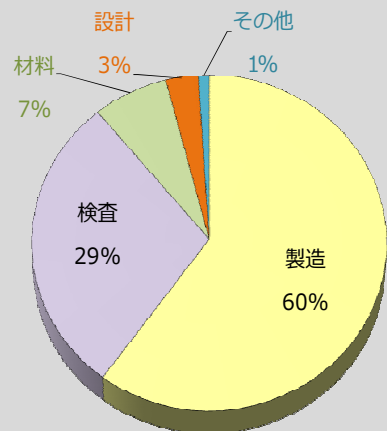


## <確性試験の実績>



昭和49年から開始し、長年にわたってご活用いただいています。  
 平成28年6月までに約120件の確性試験を実施しています。

### ★確性試験の実施例

- ▶ ライニングに関する水中乾式TIG溶接による当て板溶接工法確性試験（平成26年）
- ▶ 「アモルファス接合」の発電設備用配管への適用に関する確性試験（平成元年）
- ▶ 液化ガス用貯槽および管の溶接部の応力除去の要否に関する確性試験（昭和55年）

### 関連発表先：

1. 発電技検における40年の確性試験を顧みて、日本原子力学会誌、Vol. 56、No. 8、pp. 41～46
2. 発電技検における確性試験、日本保全学会誌、Vol. 13、No. 3、pp. 24～28
3. 確性試験とは何か—その役割と意義、火力原子力発電、Vol. 66、No. 1、pp. 38～42
4. 発電技検の確性試験について、技術レビュー、Vol. 8、pp. 40～43
5. 発電技検における確性試験の回顧と展望、技術レビュー、Vol. 10、pp. 40～44

### お問い合わせ先

一般財団法人 発電設備技術検査協会  
 規格基準室

TEL:03-5404-3874 FAX:03-5404-3882  
 E-Mail:kikaku@japeic.or.jp

発電技検がご提供する規格基準支援

# 発電設備の規格基準に関して 全面的に支援します。

発電技検は国内外の発電設備に関する技術動向や規格基準、法令の解釈運用基準に関して、自主及び委託調査を行っています。

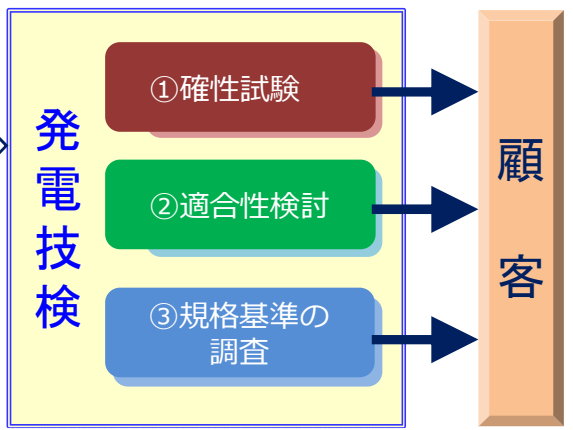
その成果を基に、JISやASME等の規格作成や火技解釈※1の改正提案を行うことで産業界に貢献しています。

長年を通じて蓄積してきた規格基準に関する豊富な知識や情報、経験を活かした業務をご提供します。

- 火技解釈
  - 国内規格
    - JIS(日本工業規格)
    - JEAC(日本電気協会電気技術規程)
    - JSME(日本機械学会規格)
    - WES(日本溶接協会規格)
    - NDIS(日本非破壊検査協会規格)
  - 海外規格
    - ASME(米国機械学会)
    - ASTM(米国材料試験協会)
- 等

調査

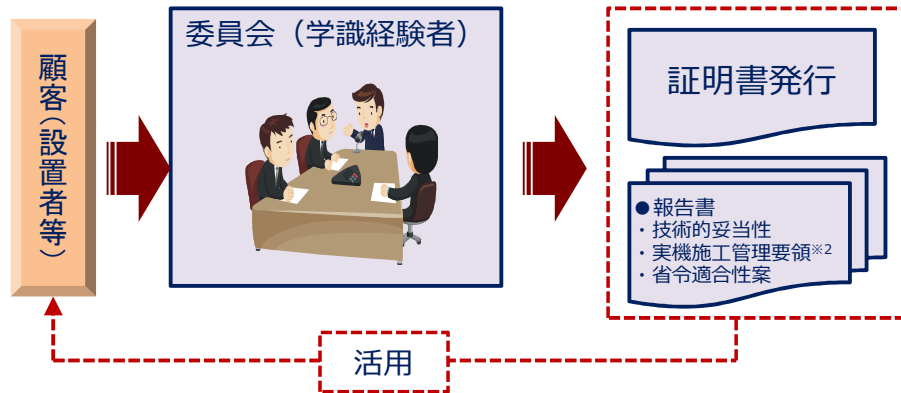
提案



## ① 確性試験

技術基準や規格にない新たに開発された材料・設計・製造・検査等の技術的内容を客観的に検討します。

- 新技術を実機に適用にする場合には技術的根拠が必要とされています。
- 報告書等は省令等への適合性を判断するための技術資料として活用できます。
- 確性試験を有効活用することで、コストの低減が図れます。



### ★確性試験の活用例

- 1) 法令適用事前確認手続※3の技術的根拠の検討に活用されました。
- 2) 「発電用原子力設備規格 維持規格」の補修章に反映されました。

## ② 適合性検討

- 発電技検の規格基準の専門家が第三者の立場で適合性を検討します。
- 比較的短期間での検討が可能です。
- オプションとして学識経験者による報告書レビューを追加できます。

### ★適合性検討の例

- 1) 旧認可溶済接施工法の技術基準に対する適合性の検討。
- 2) 技術基準の解釈に未規定の技術内容に対する事前の検討。
- 3) 特殊な機器や試験検査への規格基準の新規適用の検討。

## ③ 規格基準の調査

- 規格基準の解釈の仕方や適用に関する調査を行います。
- ASMEやJIS等の規格委員会委員である発電技検の専門家が調査を担当します。

### ★規格基準の調査の例

- 1) 規格基準の最新動向や根拠に関する調査。

※1 発電用火力設備の技術基準の解釈。

※2 新技術に対応した、溶接施工法確認試験要領、溶接施工法、実機での試験検査方法及判定基準等の管理方法や実施方法をまとめた要領。

※3 新技術が法令に抵触するか否か事前に関連官公庁等に確認する手続。